

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	ウォーロード	Lv.1:	ウォーリア	レベル	19
サポートクラス	シーフ	Lv.1:	シーフ	性別	男
称号クラス				年齢	16
種族	ヒューリン			境遇	師匠
出自 (効果)	放浪者			目標	運命

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	33	29	26	8	8	8	9
ボーナス	11	9	8	2	2	2	3
クラス修正	2	3	2	0	1	0	0
他修正							
能力値	13	12	10	2	3	2	3

HP	204
MP	140
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ラウールの剣		0	10	0	0	0	-1	0
左手	影羽の剣		-2	15	0	0	0	0	0
頭部	刃の兜		0	0	-1	7	0	0	0
胴部	水氷の鎧		0	0	-2	10	3	0	0
補助	トリックマント					5			
装身具	ファイターズジュエル								
能力値			12	0	10	0	2	13	18
スキル	バシブ、バシブ、バシブ、バシブ、バシブ、バシブ、バシブ、バシブ、バシブ、バシブ		11	41					
その他									
総計(右)			23	51					
総計(左)			21	56	7	22	5	12	18
総計(両)			21	66					m
ダイス数			4 d	3 d	3 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	12			12	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定	2			2	+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	ミスリルガントレット
ベルトポーチ	
異次元バッグ	
ポーションホルダー	
小道具入れ	
HPポーション*6	
MPポーション*19	
毒消し	
転送石	
ドロップ品	

現在重量: 68  
 最大重量: 78  
 所持金: 35  
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
プロビデンス	★	-	パッシブ	-	-	-		
効果: 作成時にフェイト+1								
バシブ	○	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果: 武器ダメ+[SLd]								
アームズマスタリー:長剣	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 長剣命中+1d								
ボルテクスアタック	★	-	効果参照	-	自身	自動成功	1/Sr	
効果: 武器攻撃と同時に使用。その攻撃を「対象:単体※」に変更、ダメ+ [CL*10]								
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲選択	命中		
効果: 対象2体以上で武器ダメ+ [SL*2]								
スペシャライズ:長剣	○	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 長剣命中ダメ+SL								
バタフライダンス	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 回避+1d								
ピアシングストライク	◇	5	DR直前	-	自身	自動成功		
効果: 武器ダメ+[SLd]								
バーサーク	○	3	マイナー	-	自身	自動成功		
効果: 武器ダメ+[SL*3]、リアクション-1d、シーン終了まで								
ウェポンフォーカス	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 武器ダメ+5								
レイザーシャープ	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 武器ダメ+1d								
スマッシュ	★	5	マイナー	-	自身	自動成功		
効果: 白兵ダメ+【筋力】、メイン終了まで								
ランナップ	★	3	セットアップ	-	自身	自動成功		
効果: 戦闘移動か離脱を行う。封鎖からの離脱は不可。								
ギフト	★	-	効果参照	-	自身	自動成功	1/Sr	
効果: ダイスロール直前に使用。+2d。								
水波斬	★	10	メジャー	20m	範囲選択	命中		
効果: <水>魔法白兵攻撃								

勇者になるべく生まれてきた青年。  
 神の天啓を受けたことがあるが、神の声の反響が酷くてよく聞こえておらず、聞き返すのも失礼かと思ったのでとりあえずで返事をしていたら内容がよくわからぬまま終わってしまった。そのため自身の運命については全く理解していない。  
 表立って戦闘を行う勇者ではなく、背後や裏方から敵の妨害を行うサポート役こそが最高にかっこいいと思っており、自身もそうならんと日々たゆまぬ努力を重ねている。  
 しかし運命には逆らえないのか、戦士としては天賦の才を持っている一方、肝心の戦闘サポートにおける才能はお世辞にもあるとは言えず、歪な成長を遂げ続けている。  
 しかし本人は己が才についてもやはり気付いておらず、今日もサポーターとして味方を支えるべく奔走する。



